

2025-26年度 第2650地区スローガン  
「未来へつなぐ」

第2650地区〔1961.3.28創立〕

## YAMATOTAKADA ROTARY CLUB

会 長	山 田 博
副 会 長	安 田 志 郎
幹 事	木 原 常 裕
会報・資料委員長	酒 本 良 司

クラブHP <http://yamatotakadarc.org/> アドレス [ytrotary@abelia.ocn.ne.jp](mailto:ytrotary@abelia.ocn.ne.jp)

地区HP <http://rid2650.gr.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/yamatotakada.rc/>

例会日時：毎週火曜日 12時30分 例会場所：経済会館 3階大ホール  
事務所：〒635-0095 大和高田市大中 106-2 経済会館 4階 TEL 0745-52-4366 FAX 0745-23-3823

### 第25回(通算3065回)2026年(令和8年)2月10日号

#### 本日の例会(2月10日)

「2026年の経済動向～円安について考える～」  
一般財団法人 南都経済研究所  
理事長 西川恵造 様

#### 次回の例会(2月17日)

「趣味としての音楽について」

堀川巳清 様

#### 2月3日の例会報告 会長の時間

2月4日(水)19時からZoom会議で、地区におきましてクラブサポートミーティングが開催されます。奈良第2グループの会議で、吉田ガバナー補佐もご参加になります。それぞれのクラブの進捗状況を報告したり討論する場となっております。テーマは6個あります。まず1つはマイロータリーの登録状況について。2番目は会員増強と維持の進捗状況。そして、寄附金などへの取組。クラブ運営の新たな取組の仕方、奉仕事業などの開催をどのように評価するかということ。最後に、次年度への引き継ぎ重要事項という6つのテーマが議題とされます。最後の「未来へつなぐ」というのは、ガバナー方針の中にもありますので、それを考慮しているかということではないかと思えます。

参考までに申しますと、マイロータリーの登録につきましては、第2グループにおいて、当クラブの登録状況が非常に悪く、最下位になっております。新入会員の方が入ってこられたら必ず登録をお願いするということで、努力していることを報告させていただきます。マイロータリーの目標は4割ということをご各会員の方に知っていただきたいと思えます。会員増強については、来週からは今期当初と同じ会員数になります。

私が入会いたしました15年前にEクラブがロータリーに誕生いたしました。そのときには、今までのロータリー活動とは違うという点についていろいろな意見も出ておりました。今になってみますと、コロナの流行を経て、地区の会合はほとんどZoomでの参加も可能なハイブリッド会議に変わりました。15年間を振り返りますと、ロータリーも進化を遂げてきているというのが私の感想です。

そして、ロータリーの活動の原点は、親睦・交流・友情であるというのは変わりのないことでもあります。当クラブにおきましては、趣味の会に、新たに芸術・舞台・文化を楽しむ会が発足いたします。趣味の会など親睦の場に多数の方にご参加をいただき、これからの一致団結した大和高田RCであってほしいと思えます。

#### 幹事報告

◎理事会のご報告

- |                                      |    |
|--------------------------------------|----|
| 1. 創立65周年記念親睦例会の件                    | 承認 |
| 2. 老朽化看板撤去の件                         | 承認 |
| 3. 當麻寺中将姫の銘板取替え、及び近鉄高田駅前石碑について協議継続の件 | 承認 |
| 4. 65周年記念誌の件                         | 承認 |
| 5. バナー変更の件                           | 承認 |
| 6. 芸術・舞台・文化を楽しむ会設立の件                 | 承認 |

#### ゲスト

松倉圭吾様(入会予定者)

#### 誕生日祝

川中教正会員(2月 6日) 杵村喜芳会員(2月 7日)

#### 結婚記念日祝

中井謙之会員(2月 3日) 山田幸雄会員(2月 3日)

村島靖基会員(2月 6日)

#### 創業記念日祝

辻 修会員(2月 5日) 藤井宏典会員(2月 5日)

#### 委員会報告及びその他報告

◎趣味の会委員会 芸術・舞台・文化を楽しむ会  
鶴山洋子世話人

趣味の会委員会の芸術・舞台・文化を楽しむ会が発足いたしました。通称「舞芸会」と言います。奈良を中心に、たくさんのホールや演芸場において、演奏会や映画会を、ご家族、友人と一緒に楽しむ会となります。チケットの取りまとめもいたしますので、みんなで鑑賞して、帰りにおいしいものをちよつと食べて親交を深めたいと思っております。スローガンは「つなぐ・つなげる・笑顔の輪」です。ぜひとも楽しみながらご協力をお願いします。

◎広陵地区情報集会 廣橋健次郎世話人

3月10日(火)広陵地区情報集会を行いますので、出席の程よろしく願います。

◎雑誌・IT委員会 吉岡寛人委員長

『ロータリーの友』2月号についてご紹介いたします。5ページに2月は平和構築と紛争予防月間ということで、平和を願う言葉の記録として、「ある少年通信兵の沖縄戦」という記事がございます。34ページには千玄室氏のピックアップストーリーがございます。

#### 4つのテスト〔言行はこれに照らしてから〕

1. 真実か どうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるか どうか

後ろから2ページのところに「これからの時代に求められる不登校支援」という記事がございます。

ホームページの例会欠席等の連絡をするところに、メールアドレスを入れる項目を追加させていただきました。これによって、欠席の連絡をいただきましたら、届いていますよという連絡がいくようになります。

○地区職業奉仕委員会 村島靖基副委員長  
「奉仕の理念から学ぶ職業奉仕と社会奉仕」ということで、職業奉仕委員会と社会奉仕委員会のコラボレーション会議が行われます。2部の「奉仕の理念を地域で実践する」というところで、我がクラブの「大和高田歴史ウォーク」が代表例に選ばれました。吉岡奉仕委員長に事例を現場で語っていただきますので、大和高田RCの方は、できましたら現地リーガロイヤルホテル京都に来て、スピーチをお聞きいただきたいと思っております。もしご都合のある場合は、Zoomでのご参加も受け付けております。

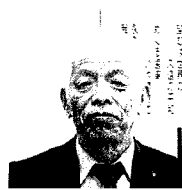
## ニコニコ箱

- ・木下庄司会員の卓話楽しみにしています。  
山田 博会員 安田志郎会員 木原常裕会員  
村島靖一郎会員 辻 修会員 村野淳二会員  
藤井宏典会員 射場祥行会員 清水良彦会員  
酒本良司会員 林 輝一会員 杉村喜之会員  
松村實昭会員
- ・木下さん卓話楽しみにしています。鈴木さんのお元氣な姿を見てうれしく思いました。  
上田麻子会員
- ・本日卓話をさせていただきます。うまく結べなくても許してくださいネ。  
木下庄司会員
- ・姉妹ロータリーのリズモー西RCにご縁を作ってください。ポール・グリーン神父様を悼んで。  
高木美香会員
- ・先週、男女1人ずつ入会いただき、ついに！ アクトの会員が10人になりました。まだまだ募集中です。  
川中教正会員
- ・鈴木会員の元氣な姿を拝見して。いろいろありました。お疲れさまでした。  
黒松 健会員
- ・退院して久しぶりに例会に出席できて感謝いたします。  
鈴木勝士会員
- ・誕生日祝を頂いて。長生きはしたくないけれど、84歳になりました。生かされた命に感謝です。  
杵村喜芳会員
- ・誕生日祝を頂いて。ありがとうございました。  
高橋正典会員
- ・今年初めての例会です。本年もよろしくお願ひします。  
垣本喜己会員
- ・結婚記念日祝を頂いて。  
村島靖基会員
- ・いいことがありました。  
一ノ坪英二会員
- ・受験生の皆さん、頑張れ!!  
吉田太郎会員

## 卓話 「令和の米騒動顛末記」

木下庄司会員

1991年(平成3年)に、フィリピンのピナトゥボ火山が大噴火を起こします。この20世紀最大の陸上での大噴火の結果、火山灰が北半球を覆い、極端な冷夏をもたらします。平成5年には作況指数74という未曾有の大凶作となりました。その年の8月に政権移行した細川護熙内閣では、足りないお米を諸外国から輸入して、何とかこの苦難をしのぐことになりました。



しかし、平成6年産は打って変わって作況指数107という大豊作となり、以降30年間は米不足はどこへやらという雰囲気になりました。ただ、これをきっかけに主食用の米を備蓄するようになりました。

今回、令和5年産の作況指数は102でしたので、お米は十分に足りていると見られていました。ただ、お米の質が悪く、玄米を精米すると、通常よりも量が減る状態でした。この差が精米ロスという形で不足につながります。一方で、コロナ禍明けでインバウンド客の増加、そして外国人労働者が復帰し、需要が増加いたします。しかし、当時の坂本農水大臣は作況指数に基づき、大丈夫だという一貫した答弁を行っていました。

そんな中、さらに追い打ちをかける事態として、令和6年8月、宮崎の日向灘沖地震が起きます。このとき気象庁は、同じような地震が近々起きる可能性があることを発表します。そこで、国民は準備として、水や米の買い置きを始めました。その結果、スーパーの店頭等からお米が消えることとなります。折しも、供給不足と需要増加がある中で、令和6年産との端境期になっており、お米の供給がさらに減っておりました。

10月になると石破内閣に変わり、江藤農水大臣が就任されます。令和6年産の作況指数は101だから大丈夫ですと言っておられましたが、今まで述べたような原因が重なって、お米の価格が随分と上がりました。

備蓄米の放出は1月になりましたが、1月の末というのは、お米の業界において、買付契約の60%から70%が終わっております。なので、お米の単価が下がることはありませんでした。年内11月頃に行っていれば効果があったかもしれません。

その後、小泉農水大臣に代わり、卸売業者を介さない、俗に言う小泉備蓄米が随意契約米として売り出されました。米の作付面積も60万トン分増やすことになりましたが、JAも民間の中間業者も早い段階から困り込みを行いましたものですから、本当のところが見えなくなっていました。

単価は高くなったのですが、今度はお米が売れない状況になります。お米の単価は今もまだ高いままですけれども、ちらほらと特売が目につくようになってきました。ついこの間まで、5キロ約5000円でしたが、恐らく今年の秋近くには相当お米が余り、5キロ当たり3000円から3500円ぐらいになるのではないのかと思われまます。

日本政府が一番大変なのは、消費者も生産者も見ながら制度・政策を作っていかなければならないところなんです。備蓄米にいたしましても、早くに放出すると、米の価格が下がり過ぎてしまう可能性があります。こういったことで、なかなか新しいことを切り出せなかったのだと思います。

これだけ多様化した食品がある中ですが、日本人にとって米は大切なものであり続けています。皆さんもお孫さんに、米は我々の心なのだとお伝えいただきたいと思っております。

出席報告	会員 総数	出席 義務 会員数	義務 会員 出席数	義務 会員 欠席数	義務 会員 MU	出席 免除 会員数	免除 会員 出席数	免除 会員 MU	出席率
2月3日	86	56	51	5	1	30	21	0	94.80%
1月27日	86	56	47	9	1	30	17	0	89.04%
1月13日	86	56	44	12	2	30	22	0	87.18%

※1月27日は弁当残数0個を達成しました。引き続きご協力をお願いします。